

酒田っ子 すすく 子育て講座 第150回

東北公益文科大学 名誉教授 國眼 眞理子 先生

測れる力と測れない力

保育園の時は字が書けたり読めたりするだけで褒めてもらえたカナちゃん。「上手に書けるようになったね」「一生懸命走ったね」と本人の意欲や粘り強さにも目を向けてもらえていたのですが、小学生になった今、なかなか褒めてもらえません。速さや正しさ、知識量を反映したテストの点数やいい点数を取った回数などの数値次第で、いい評価をもらったり、逆にもう少し頑張れと言われたりすることが多くなりました。

確かに点数や回数、順位といった数値で表され測ることができる力は、一見すると客観的で誰にでも分かりやすく、前の状態と比べたり、周りの人と比べたりするのに便利です。ただその分かりやすさゆえに、小学生になると、測ることができる力、つまり数値で表される評価に偏りがちになっていないでしょうか。そしてその数値に一喜一憂しては

いないでしょうか。

早生まれで小柄なカナちゃんは運動面でも同級生に歯が立たないことがしばしばで、残念ながら身のこなしやスピードはいまひとつです。しかしひとつの技をできるようにしたいと繰り返しその意欲や向上心、持続力、失敗しても取り組む力などとはなかなかのものです。

このもつと上手になりたいという意欲や向上心、粘り強さは、測ることが難しいために本人の自信に結び付きにくいのですが、家庭や学校の中でこそ気付きやすく育てやすい力です。そして実はこれらの力は、これから先の学力や運動能力のように測ることができる力を伸ばす土台になっていきます。

測れない力へ積極的を目を向け励まし、その育ちをサポートしてあげたいですね。

日本海と大地がつくる 水と命の循環

鳥海山・飛島ジオパーク

リレーコラム

第138回

図観光物産課にぎわい創出事業係
☎26-5759

岩ガキとジオ

夏は岩ガキが旬を迎えます。日本海沿岸の岩ガキは、その全てが地元の漁師が素潜りで獲る天然物という希少性から、多くの人が岩ガキを求めてこの地を訪れます。国内に多く出回るマガキは冬が旬であるにもかかわらず、この地域の岩ガキはなぜ夏が旬なのでしょう。

カキは、体の中にたくさんのおまみ成分(グリコーゲン)を蓄える産卵直前が最もおいしくなります。マガキの産卵期は6月〜8月で、この時期のマガキは産卵にグリコーゲンを使ってしまったため、夏は水っぽくてあまりおいしくありません。一方、岩ガキの産卵期は9月とマガキに比べてやや遅く、マガキよりゆつくりと少しずつ産卵します。このため産卵時期でもあまり味が落ちず、食用期間も長い岩ガキは、夏が旬になるのです。

岩ガキの産卵時期がマガキとずれる理由として、秋田県にかほ市から遊佐町にかけて海底で起こっている冷たい湧き水が岩ガキの成長を遅らせている可能性が考えられています。一方で、この湧き水の中には植物プランクトンの成長を支える栄養塩が含まれており、これが植物プランクトンを主な餌とする岩ガキの生育を促しているとされています。

海底からの湧き水は、鳥海山に降った雨や雪が地下水となって、数十年かけて鳥海山の溶岩流の中を流れ下ってきたものです。岩ガキは、湧き水と溶岩がつくり出した豊かな海の象徴なのです。



一般社団法人鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会事務局次長兼主任研究員 大野 希一氏



▲クリーミーな味わいが何ともいえない岩ガキ。鳥海山・飛島ジオパークの夏の名物の一つです。